

# スウェーデンの若者の 参政意欲の高さを探る

2012.02.14

角田 みずき

# Contents

- ・はじめに
- ・疑問 & 仮説
- ・データ分析
- ・まとめ
- ・おわりに



# はじめに



## <選挙の投票率>

%	全体	～24歳	65～69歳
2010年参議院選挙(日本)	58.6	<u>32.8</u>	77.7
2010年選挙(スウェーデン)	84.6	<u>79.0</u>	90.6



疑問!??

どうしてスウェーデンの若者は政治に参加したいと思うのか？  
参加できるのか？

# 仮説

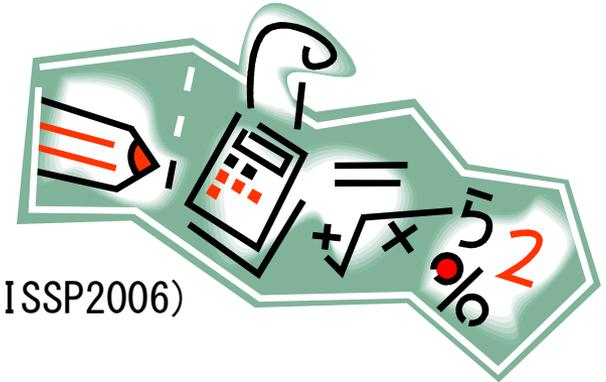
どうしてスウェーデンの若者は政治に参加したいと思うのか？  
参加できるのか？

スウェーデンでは 日本よりも、

1. 若者が政治に参加しやすい仕組みが整っているから
2. 若者を政治に受け入れる寛容さが社会全体にあるから
3. 若者の政治に対するイメージが良いから



# データ分析



Q政治にどの程度関心がありますか？ (ISSP2006)

1, 非常に関心がある—3, まあ関心がある—5, 全く関心がない

回答が 1~3の割合(%)	全体	~24歳	65~69歳
日本	71.6	48.7	77.2
スウェーデン	70.3	60.8	75.9

データ上でも投票率と同様の反応が見られる。

## 【重相関分析】

「政治への関心度」×「一般の市民の政治への影響力の有無」、「国家公務委員が国のために最善を尽くす」、「政治家の汚職への関わり」(ISSP2006)

		R	p-値		
			政治への影響力	最善を尽くす	汚職
日本	全体	0.41	<0.001	<0.001	<0.001
スウェーデン	全体	0.35	<0.001	<0.001	<0.001
日本	～24歳	0.34	0.05	0.83	<b>0.02</b>
スウェーデン	～24歳	0.36	0.14	<b>0.06</b>	0.14
日本	65～69歳	0.46	0.01	0.16	0.01
スウェーデン	65～69歳	0.35	0.23	0.12	0.13

\*0.05以下 相関性がある

日本 → 汚職の有無  
 スウェーデン → 国家公務員が最善を尽くしている

# 1.政治に参加しやすい仕組みがある

＜国家公務員が最善を尽くしていると思う＞

情報を追っている、もしくは日々、目に見える状態であることが前提。

→日々情報に触れる機会や習慣があるのかもしれない・・・

そもそも、**‘知っている’** ことが政治への理解につながるのでしょうか？

単相関分析 (ISSP2006)

政治的課題への理解度×政治への関心

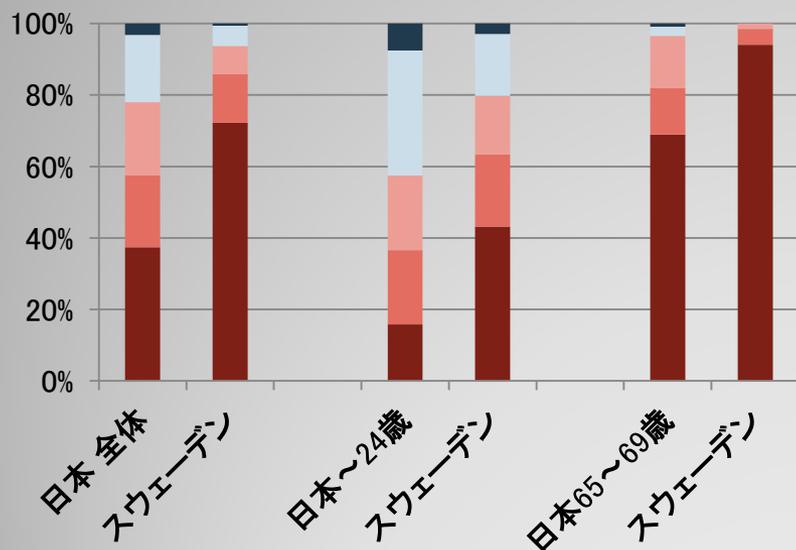
両国の全体・～24歳・65～69歳において $<0.001$   
強い相関がある。

政治への関心が高いスウェーデンには、  
政治の動きを知る機会や政治の課題を日常的に追う習慣があるのだろう。

Qあなたはテレビやラジオ、新聞などで、どの程度政治の動きをおっていますか。

(WVS1999、WVS2000)

- 毎日
- 1.2回/週
- 全くない
- 3.4回/週
- ほとんどおっていない



Qあなたは、友人などと一緒にになったとき、政治の話をどの程度しますか。

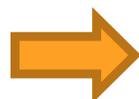
(WVS1999、WVS2000)

1.よくする、2.ときどきする、3.しない

平均値	全体	~24歳	65~69歳
日本	2.29	2.54	2.01
スウェーデン	1.77	1.70	1.82



メディアで政治の動きを追う頻度・・・ スウェーデンの方が高い  
友人と政治について話す頻度・・・ スウェーデンの方が高い



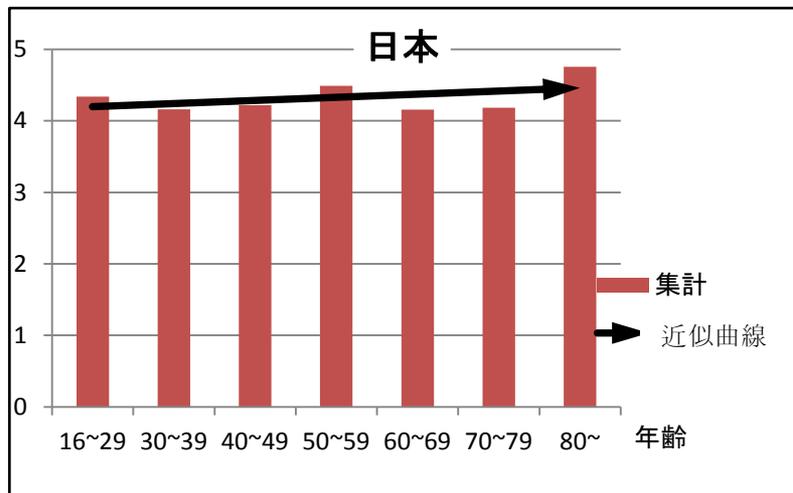
**スウェーデンには政治課題や現状を知る習慣や機会が根付いている！**

## 2. 社会全体の寛容さ

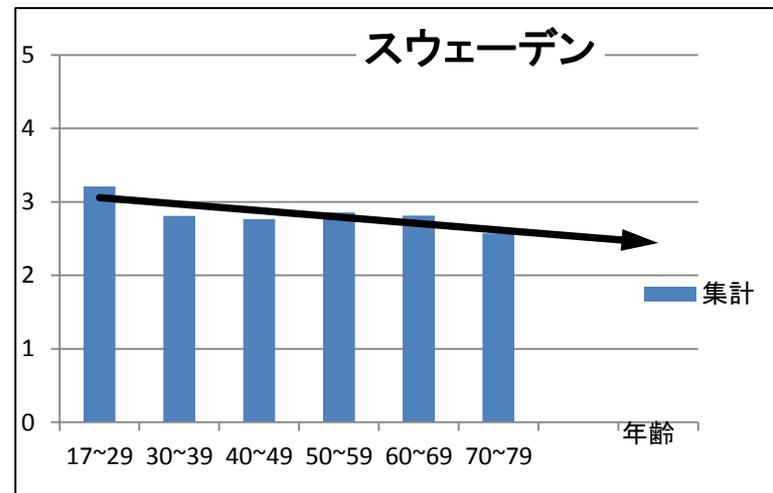
Q私のような一介の市民は、政府のすることに発言をする資格がない

1 そう思う----3 どちらともいえない----5 そうは思わない (ISSP2006)

平均値 5に近いほど発言する資格がある



若者 ↗↗↗↗ 年配層



若者 ↘↘↘↘ 年配層

近似曲線の傾斜に注目すると、

日本:年を取るほど政治に意見しやすい傾向

スウェーデン:年を取るほど政治に意見をせず、遠慮する傾向

→→若者が意見しやすい環境!?

Q一般的に言って、人はだいたいにおいて信用できると思いますか、それとも人と付き合うには用心するにこしたことはないと思いますか。

1 だいたい信用できる    2 用心するにこしたことはない                      (WVS2000)  
平均値

	全体	～24歳	65～69歳
日本	1.57	1.57	1.63
スウェーデン	1.34	1.39	1.43

**スウェーデンは日本よりも、他人を信用する傾向。**

→新人が入ってくることへの抵抗感が少ない。

→若者が政治に参加することにも寛容。

スウェーデンでは、若者に政治への参加資格があるという自覚があり、年を取るほど譲る傾向がある。また日本よりも他人を信用するため、新しい人が輪の中に入っていきやすいといえる。

新人である若者が政界に加わりやすく意見しやすい社会体制になっている。



### 3.政治に対するイメージ

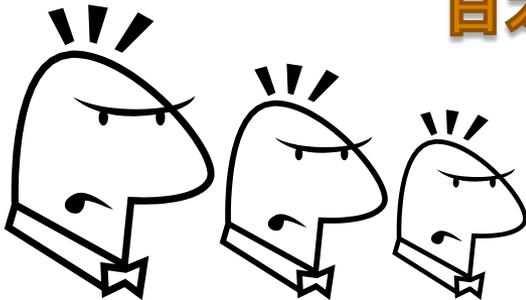


Q『仕事に関連してワイロを受け取る』についてあなたはどのように思いますか。全く正しい(認められる)と思いますか、それとも全く間違っている(認められない)と思いますか。(WVS2005)

1全く間違っている(認められない)～～10全く正しい(認められる) 10段階評価の平均値

	全体	～24歳	65～69歳
日本	1.54	1.79	1.22
スウェーデン	1.98	2.36	2.05

**日本の方が賄賂に対する反応が厳しい！**



## 腐敗認識指数 Corruption Perception Index 2011 RESULTS

RANK	COUNTRY	SCORE
1	New Zealand	9.5
2	Denmark	9.4
2	Finland	9.4
4	Sweden	9.3
5	Singapore	9.2
6	Norway	9.0
7	Netherlands	8.9
8	Australia	8.8
8	Switzerland	8.8
10	Canada	8.7

RANK	COUNTRY	SCORE
11	Luxembourg	8.5
12	Hong Kong	8.4
13	Iceland	8.3
14	Germany	8.0
14	Japan	8.0
16	Austria	7.8
16	Barbados	7.8
16	United Kingdom	7.8
19	Belgium	7.5
19	Ireland	7.5

<http://cpi.transparency.org/cpi2011/results/>  
TRANSPARENCY INTERNATIONAL

\* スコアが高いほど清廉された政治の国

賄賂を受け取ること ... 日本の方が厳しい反応  
政治の腐敗度 ... 日本の方が腐敗度高い



日本人の方が自国の政治の汚職に嫌気をさす機会が多く、イメージの悪化につながりやすい。

# まとめ

どうしてスウェーデンの若者は政治に参加したいと思うのか？  
参加できるのか？

1. スウェーデンでは、若者にも政治の現状を知る機会や習慣が機能していて、政治を‘知る’ことが政治への興味を高めているから。
2. スウェーデンでは、若者に政治へ意見する資格があるという認識があり、また既存の集団に新人が入っていきやすい社会的な寛容さがあるため、若者が政治に参加しやすいから。
3. スウェーデンでは、日本のように汚職に対する厳格さはなく、政治自体の腐敗度も低いため、イメージの悪さが政治への興味を低める要因にはなっていないから。



# おわりに

日本人の若者が政治にもっと関心を寄せるようになるには・・・

『知ること × 社会的寛容さ』

- ・イメージの先行を止める
- ・若者の政治理解を高める対策を行う。  
情報の共有

＝社会が若者を取り込んでいく

ご清聴ありがとうございました



—END—